



# 美 し さ

將軍、大名、文人、富豪、そして画家…  
江戸時代の人々を熱狂させた  
〈庭園画〉とは何か？

2017

10 / 21 (土) — 12 / 10 (日)

前期 | 10月21日(土) ~ 11月12日(日)

後期 | 11月14日(火) ~ 12月10日(日)

開館時間 | 10:00 ~ 17:30 (展示室への入室は17:00まで)

休館日 | 毎週月曜日

観覧料 | 一般800円(600円)、70歳以上400円(300円)、大学生以下無料

\* ( )内は前売および20名以上の団体料金

\* 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と付添者1名は無料

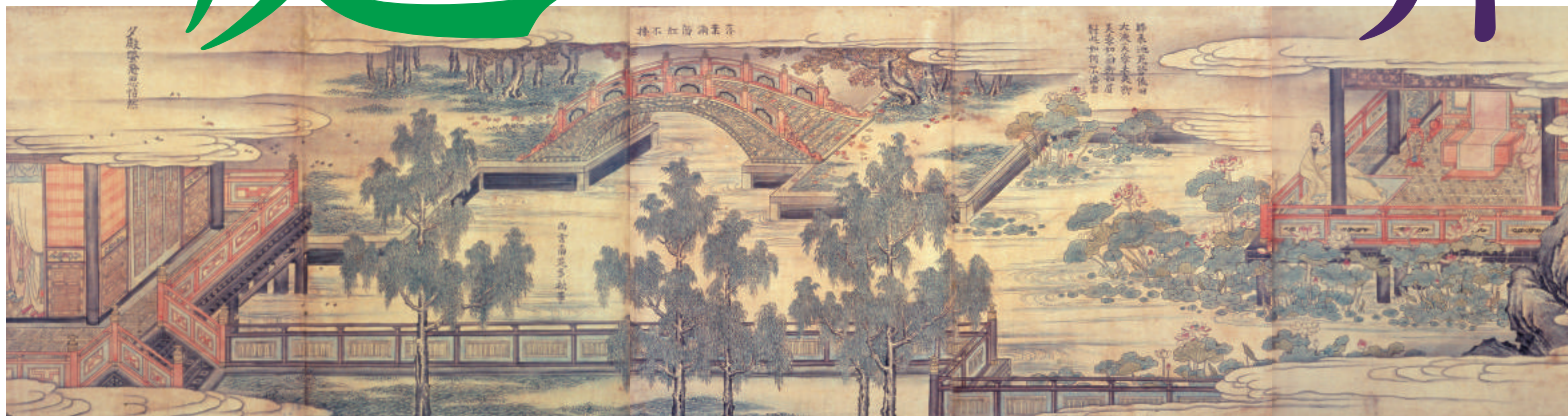
\* 収蔵品展・ロタン館も併せてご覧いただけます

主催 | 静岡県立美術館



江戸絵画にみる  
現実の理想郷

# 庭園画の世界



静岡県立美術館  
Shizuoka Prefectural Museum of Art

(上右) 狩野養信「鷹狩図屏風」(板橋区立美術館)  
(上左) 池大雅「湖亭曲水図屏風」(静岡県立美術館) 重要文化財(部分)  
(下) 狩野山雪「長恨歌絵巻」(サントリー美術館)(部分)



江戸時代の日本では、千を超える大名庭園がひしめく、世界でも類稀なる“庭園都市”江戸が誕生しました。大名や文人をはじめとする江戸時代の人々にとって、庭園は社交や儀礼の場、そして日常のなかで名所や憧れの地へと想いを馳せることのできる、現実の理想郷ともいべき場所でした。庭園の美しさを絵にとどめたい、あるいは普段眼にすることができない名園を絵で見たいという人々のもちによって、江戸時代には数多くの〈庭園画〉が描かれました。一方、古来数々の名園が造られてきた関西においても、江戸時代には、社寺や文人の居宅の庭園、そして中国の憧れの庭園を描く作品が制作されました。江戸時代の人々を熱狂させた庭園ブームのもと、庭園が描かれた絵のなかには、傑作と称すべき作品も少なくありません。江戸絵画史を動かすような名品も生んだ〈庭園画〉は、大名や文人たちに愛され、そして江戸時代を代表する画家たちによって描かれたのです。

本展は、江戸絵画において重要なジャンルを形成した〈庭園画〉の成立と展開を、江戸時代初期から幕末に至る絵画作品によってとらえようとする初めての展覧会です。本展では、関東と関西における庭園画の流れをご紹介します、江戸時代の庭園画の歴史を概観します。また、実景を描いた絵画と庭園画の関心に注目することで、江戸絵画史の展開のなかで庭園画をとらえ、庭園画のひろがり魅力をご堪能いただけます。

知られざる江戸絵画のジャンル・庭園画の美しき世界を、そして、庭園画を通じて江戸絵画の風景表現の豊穡なる世界を、どうぞお楽しみください。



狩野常信「六義園図」(郡山城史跡・柳沢文庫保存会)(部分)

# 1

ここがすごい!

六義園・金閣寺…今に続く東西の名園を描いた江戸時代の庭園画が一堂に会します

年間70万人を超える人々が訪れる、国指定特別名勝の庭園・六義園。中央の大きな池を中心に、点在する館や茶亭は緑豊かな木々に囲まれており、変化に富んだ園路は人々に散策の楽しみを体感させてくれます。さまざまなビュースポットを巡るコースが整えられた六義園には、大名庭園の魅力が凝縮されています。本展では、六義園に代表される、現在も人々に愛されている名園の江戸時代のすがたに迫ることで、庭園画の魅力をご紹介します。



谷文晁「公余探勝園巻」(東京国立博物館)重要文化財(部分)(後期展示)



谷文晁「浴恩園図記」(天理図書館)(部分)

秘蔵の名品、大注目の初公開!

# 2

江戸絵画にみる現実の理想郷

ここがすごい!

江戸時代非公開の“秘園”や、江戸絵画史上最大級の庭園画が実際にみられます

“天下第一の名園”と謳われた尾張徳川家の下屋敷・戸山荘。“園籬將軍”と呼ばれ、庭園マニアだった第11代將軍・徳川家齊など、戸山荘にはごく限られた人しか入れませんでした。名園にして“秘園”だった戸山荘を描いた絵は、江戸時代の人々の心をとらえました。本展では、戸山荘に代表される、今はなき数々の名園を、庭園画でお楽しみいただけます。また、江戸絵画史上最大級の絵巻である「水前寺庭中之図」(永青文庫)は、今も熊本にある名園・水前寺成趣園を描いた作品ですが、約1m×6mの大画面には壮大な景観が広がり、その大きさには驚嘆させられます。その迫力を、ぜひ会場でご覧ください。



杉谷行直・内尾栄一「水前寺庭中之図」(永青文庫)(部分)



狩野常信「戸山荘八景図巻」(徳川美術館)(部分)



谷文晁「青山園荘図稿」(出光美術館)重要文化財(部分)(展示期間:11月7日~11月19日)

# 3

ここがすごい!

池大雅・谷文晁など、江戸時代の巨匠が描いた庭園画と、庭園画に関連する傑作の数々が集結します

庭園画を描いた画家のなかには、江戸時代を代表する巨匠も数多くいます。とりわけ、池大雅や谷文晁が描いた庭園画とその関連作品は、江戸絵画史に大きな影響を与えた名品です。本展では、庭園画の名品とともに、実景を描いた傑作もご紹介することで、庭園画の魅力をより深く味わっていただきます。

## 〈会期中イベント〉

### ◆美術講座 ※当館講座室、申込不要、無料

講師:野田麻美(当館学芸員)「美しき庭園画の世界へのいざない」

日時:11月23日(木・祝) 14:00~15:30

### ◆フロアレクチャー ※集合場所:企画展第1展示室 申込不要、要観覧料

当館学芸員が展示室にて解説を行います。

日時:11月3日(金・祝)、12月3日(日) いずれも14:00~

### ◆実技講座 ※当館実技室、事前申込制(申込方法・内容詳細は約1ヶ月前に美術館ホームページ)

または館内配架チラシでお知らせします)

講師:森谷明子氏(日本画家)「(タイトル未定)」

日時:10月28・29日(土・日) 各日10:00~16:30

## 〈チケット販売所〉

前売り券は10月20日(金)まで販売

[前売・当日券] チケットぴあ、サークルK・サンクス、セブンイレブン(Pコード共通:768-567)、ローソンチケット、ミニストップ(Lコード共通:43400)、セブンチケット、静岡県立美術館

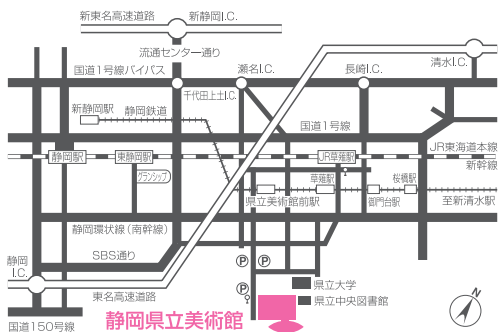
[前売券のみ] 大和文庫、戸田書店[静岡本店・江尻台店]、谷島屋[パルシェ店(9/1開店)・マークイズ静岡店]、吉見書店[竜南店]、大丸松坂屋友の会、静岡県庁本館1階売店、静岡市美術館ミュージアムショップ、グランシップ、JR草薙駅前一部店舗

## 〈次回展覧会〉

「アートの名ぞなぞー高橋コレクション展」12月23日(土・祝)~2018年2月28日(水)

## 〈静岡市美術館展覧会のご案内〉

「ウェルズ国立美術館所蔵 ターナーからモネへ」11月23日(木・祝)~2018年1月28日(日)



## 〈交通案内〉

- ・JR「草薙駅」県大・美術館口から静鉄バス「県立美術館行き」で約6分(運賃:100円)
- ・JR「静岡駅」南口からタクシーで約20分、または北口から静鉄バスで約30分
- ・JR「東静岡駅」南口からタクシーで約15分、または静鉄バスで約20分
- ・静鉄「県立美術館前駅」から徒歩約15分、または静鉄バスで約3分
- ・東名高速道路・静岡IC、清水IC、または新東名高速道路・新静岡ICから車で約25分

## 〈託児サービス〉(無料 日曜日・祝日のみ利用可)

時間:10:30~15:30

対象年齢:6か月~小学校就学前

※お預かりできる時間は2時間以内です。

※ご利用が集中した場合はお受けできない場合がございます。

## 静岡県立美術館

Shizuoka Prefectural Museum of Art

つながる、次へ

〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2  
Tel.054-263-5755 FAX.054-263-5767  
ウェブサイト: http://www.spmoa.shizuoka.shizuoka.jp  
お問合せ 総務課: Tel.054-263-5755  
学芸課: Tel.054-263-5857  
テレフォンサービス: Tel.054-262-3737